

2013年1月8日

東急不動産株式会社

シニア世代の「これからの暮らし方」を提案 &comodiaユニバーサルルーム グランクレールあざみ野にてグランドオープン ～東急不動産はシニアレジデンスから新しい価値を発信いたします～

東急不動産株式会社(本社:東京都渋谷区、社長:金指潔)は、2004年2月に開業した高齢者向け住宅の「グランクレールあざみ野」において、シニア世代の「これからの暮らし方」を実現するための、“提案型モデルルーム”を1月12日よりオープンいたしますので、お知らせいたします。



【シニアレジデンス開業より10年目の節目に、新たな提案】

2013年2月、東急不動産が高齢者向け住宅の第一号物件として「グランクレールあざみ野」を開業して10年目の節目を迎えます。節目を迎えるにあたり、&comodiaユニバーサルルームは、9年間に渡るシニアレジデンス運営のノウハウを活用し、シニア世代のライフスタイルを反映した、先進的なモデルルームとして誕生します。

&comodia(アンドコモディア)・・・ユニバーサルデザインの視点で作られた、空間や家具・インテリアを通じて、より良いライフスタイルを提供する東急不動産株式会社のブランド名です。

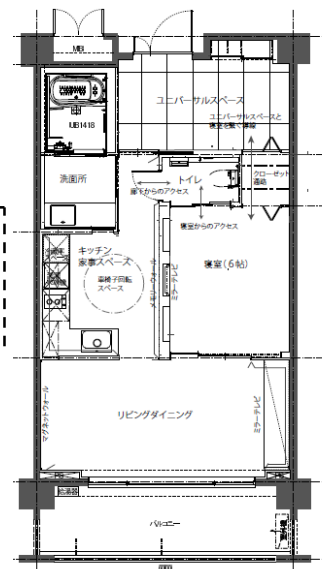
【健康状態の変化に対応した居室プラン】

健康状態が変化しやすい高齢期の特徴を捉えた居室プランとなっています。

生活に必要な機能を、シニアレジデンスにお住まいの方の実態と照らし合わせて配置しています。健康なときにはより快適に、万が一健康状態が変化したときでも暮らしやすい住空間としています。

【ユニバーサルスペースの設置】

ショッピングカートや歩行器を置くなど、高齢期には玄関周りのスペースが不足気味になります。玄関周りの、スペースに居住者のライフスタイルに合わせて様々な用途に利用できるユニバーサルスペースを設置。寝室からつながる大型の収納スペースや、書き物やパソコンをする書斎といった利用など、個人の状態に応じた使用が可能なスペースとなります。



【メモリーギャラリー（記憶倉庫）】

目に触れる機会が多いものの、未活用になりがちな廊下の壁面を活用し、マグネットウォールを装備。日常生活の中で無くしたり、忘れたりする「モノ」や「コト」をメモリーギャラリーに集約しています。写真など生活の記録はもちろん、リモコンや電話の子機も、誰でも簡単にマグネットで貼り付けることができます。マグネットの活用で、居住者のお好みに応じて箱家具や鏡・観葉植物を取り付けることが可能です。



【居住空間に広がる工夫】

モデルルーム全体に工夫を凝らしており、家事負担の低減の為、家事動線の短縮化や人気の高いロボット掃除機“ルンバ”で楽々と掃除をしてもらえるよう&comodiaオリジナルチェアーの設置や、収納不足解決と生活の中心としてのリビングダイニング機能を両立させるため、ミラーテレビ組込み大型クローゼットとするなど、アイデアと工夫を凝らした家具を配置しました。また、バルコニーも土を使わず、栄養を入れた水だけで野菜を育てるアクア栽培を導入するなど、気楽に園芸活動・家庭菜園を楽しんでいただくことができます。

【ユニバーサルデザインにおいて造詣の深いメーカーとのコラボレーションを実施】

&comodiaユニバーサルルームはユニバーサルデザインの先端システム導入実験を行うことを目的としており、TOTO株式会社、東京ガス株式会社、ニチレイマグネット株式会社など、各メーカー様からは、先端システム搭載のモデルを設置するなど、多くのご協力をいただいております。

【グランクレールあざみ野 物件概要】

所在地 横浜市青葉区あざみ野2-34-11
交 通 東急田園都市線「あざみ野」駅 徒歩11分
居室数 76室
開 業 2004年 2月

